

第4回「専門家と共に考える 災害への備え 市民力編」

～今こそ首都直下地震に真剣に向き合うとき！～

日 時： 平成22年7月16日（金）13：30～17：00

場 所： 都庁第一本庁舎5階大会議場

資 料： 当日の資料はこちらをクリックしてください。

◎ あいさつ

東京都危機管理監 加藤 英夫 氏

災害復興まちづくり支援機構 代表委員 菊池 千春 氏



◎ 第1部 基調講演

「地域力・行政力・市民力が協働する震災復興」

首都大学東京大学院 都市環境科学研究科教授 中林 一樹 氏

* 阪神に学ぶ「事前復興」の意義

* 首都直下地震とは

* 東京都の「事前復興対策」の取組み

* 首都直下地震からの復興とは

* 首都直下地震からのより良い復興への取組み、課題とその基本方向

◎ 第2部 事例報告 ～震災復興を支援する市民とは～

① 「震災復興における専門家の役割—敷地境界の問題について—」

日本土地家屋調査士会連合会 会長 松岡 直武 氏

* 阪神・淡路大震災

* 大震災と復興 被害者・支援者の協働

* 大震災からの復興と土地境界問題

* 地震による地殻変動と境界

* 境界移動の事例紹介

* 阪神・淡路まちづくり支援機構の組成と専門家協働

* 機構による境界問題解決事例



② 「事前復興訓練の可能性と専門家支援のあり方（都市復興模擬訓練）」

首都大学東京大学院 助教 市古 太郎 氏

* 東京都都市整備局 都市復興図上訓練の経緯と特徴

* 図上訓練成果：復興まちづくり方針の意味

* 達成度評価・計画案評価を通して見えてきたこと：今後の方向性

③「豊島区上池袋地区復興まちづくり訓練からの報告（復興まちづくり訓練）」

上池袋町会町会長 山寄 和弘 氏 , 豊島区建築審査課長 末吉 正伸 氏

- *公園を中心とした利活用と道路整備
- *民間の駐車場の利活用
- *産業復興支援の重要性
- *「復興」という視点から見えてくるもの

◎ 第3部 ラウンドテーブル

司 会： 弁護士 安藤 建治 氏

パネリスト： 中林 一樹 氏

松岡 直武 氏

市古 太郎 氏

末吉 正伸 氏

山寄 和弘 氏

- *パネリストと会場の人たちと意見交換が行なわれた。
- *地域力を育てる、住民による提案型の計画が大事。
- *行政も含めて財政・コミュニティーをしっかりと検討する必要がある。
- *コラボレーションすることの大切さ。(松岡氏)



(東京土地家屋調査士会 事業部担当理事 山本憲一)

